



個性あふれる仮装でまちを行進

大洲高校の藤樹祭恒例行事、仮装行列が9月8日(火)に大洲高校から大洲農業高校までのコースで行われ、生徒たちはクラスごとにテーマに沿って工夫を凝らした仮装を披露しながら練り歩きました。

小雨の降る中での開催となりましたが、大洲小学校前では大洲南中学校と大洲小学校の児童生徒が大勢待ち構え、知っているキャラクターが近くに来ると歓声を上げて応援していました。



一人で抱え込まず、SOSを

大洲市の自殺対策事業の一環として、「SOSの出し方を学ぼう」が9月11日(金)、喜多小学校の6年生を対象に行われました。

授業では、NPO法人こころ塾の村松彩^{あや}先生から、ストレスは体や心、行動などに表れるため、自分の不調のサインを知っておくことが大切。また、つらいときや困ったときは一人で抱え込まず、周りの大人(味方)に相談することなど、自分の心を守るための「SOSの出し方」を学びました。

相談するときのコツは、「話をしても大丈夫かな?」と相手の都合を確認してから話し始めること。一方、相談を受ける側は、途中で口を挟んだり否定したりせず、まずは最後まで話を聞くことが大切だと教わりました。

子供たちは、先生の話に耳を傾けたり、グループで意見を出し合ったりしながら、自分や周りの人の心を守るために大切なことを真剣に学んでいました。



グループワーク



国境を超えて笑顔で交流

大洲で働く外国人労働者と地域住民の交流イベントとして「国際交流肱南コミュニティカフェ」が9月13日(日)、肱南コミュニティセンターで開催されました。

ミャンマーやインドネシアからの移住者12人をはじめ約100人が集まり、コーヒーやミャンマーのパンケーキ「バインモン」を囲みながら長浜豊年踊りや三味線演奏を楽しみ、交流を深めました。

参加した外国人は「初めて浴衣を着ることができたり踊りを見ることができたりしてよかった。もっと日本のことを学びたい」と笑顔で語っていました。

その運転 危険です！体験講習で学ぶ

交通安全意識の向上を目的とした大洲市交通安全教室（内閣府・大洲市などが主催）を9月25日（金）、大洲市総合体育館で開催し、市内の高齢者や交通安全関係者など73人が参加しました。

この事業は毎年、全国から2自治体を選び実施されるもので、今年は本市での開催となりました。主催者を代表して内閣府政策統括官付交通安全啓発担当の村松朝生参事官補佐が「交通安全は、一人ひとりの安全意識の集大成であり、他人事ではなく我が事として交通ルールの遵守に努めてほしい」とあいさつしました。

愛媛県警察音楽隊のブラス演奏で始まり、自転車講習や、プロのスタントマンが実際に発生した交通事故を再現する「スケアード・ストレイト」を実施。自動車と自転車、自転車同士の衝突事故などが再現され、参加者は危険運転の怖さを学んでいました。

このほか、体験型ブースでは、交通安全能力診断や歩行者・防犯講習、自転車・自動車運転シミュレーターなどで交通安全意識を高め、交通安全に関するさまざまな催しを通して、参加者は、楽しく有意義な一日を過ごしていました。



地域と育てた実りの秋を収穫

9月25日（金）、平野町保子野地区で、平野小学校の児童13人が稲刈りを体験しました。児童たちは地域のみなさんに鎌の使い方や刈り方を教わりながら、実った稲を刈り取りました。刈り取った稲は束にして「稲木干し」にしました。

平野小学校の児童は、毎年、地域のみなさんの協力のもと、田植えから稲刈りまでの米作りを体験しています。今回収穫したもち米は、餅つきをしてみんなで味わう予定で、子供たちは食べる日を楽しみにしています。



秋の夜長を彩る「いもたきな夜」

9月25日（金）、「観月会～いもたきな夜～」が肱北河原で開催されました。会場では、大洲市青年農業者協議会（アグルビト）によるいもたきをはじめ、鮎の塩焼きなどの露店が並んだほか、大洲高校箏曲部による演奏など、多彩なステージイベントが行われました。

また、無料で利用できる「TATAMI（たたみ）エリア」や「プチキャンプエリア」が設けられ、来場者は肱川の心地よい風を感じながらいもたきを味わい、思い思いに秋の夜長を楽しんでいました。





雨にも負けず、肱川沿いを快走

肱川沿いの風景を楽しむサイクリングイベント「ツール・ド・ひじかわ2026」が9月27日(日)に開催されました。

今年で記念すべき第10回を迎えたこのイベント。当日はあいにくの雨となり、安全面を考慮してコースを短縮しての開催となりましたが、参加した102人は、畑の前河川敷広場（五郎）をスタート。途中のエイドで志ぐれやいもたきなど大洲の味覚を楽しみながら、秋の肱川沿いを元気よく駆け抜けました。



不戦、平和の尊さ 歴史や記憶を後世へ

令和8年度大洲市戦没者・消防及び公務殉職者合同追悼式が9月30日(休)、市総合福祉センターであり、遺族、来賓など約70人が出席しました。二宮市長は式辞で、「平和と繁栄の実現に全力を尽くす」と誓い、来賓の一人で遺族会大洲支部の菊地利邦支部長が「家族を失った悲しみは言葉に尽くせない」と哀悼の辞を述べました。参加者が献花を行った後、遺族代表で白滝支部の都築小富さんが、「子や孫、後世へと語り継ぐことが私たちの使命」とあいさつし、式を終えました。



世界大会に出場する帽子さん(左)と矢野さん(右)

ロボット競技で挑む世界一！

ロボットの製作やプログラミング技術などを競う世界大会「World Robot Olympiad (WRO)」に出場する八幡浜工業高校3年の帽子大輝さん(新谷中出身)と矢野琥鉄さんが10月2日(金)に市役所を訪れました。

2人は世界大会に向けて「地域に明るい話題を届けられるよう、世界一を目指して頑張ります。応援をよろしくお願いします」と力強く抱負を語りました。WROは12月8日(火)からプエルトリコで開催されます。



マッチシティで愛媛FCを応援！

10月3日(土)、ニンジニアスタジアムで、サッカーJ3リーグ「愛媛FC対ザスパ群馬」の一戦が「大洲市・宇和島市マッチシティ」として開催されました。スタジアムの外には大洲市PRブースが設けられ、特産品を先着500人に配布するなど大洲の魅力をPRしました。

試合前には、「菅田サッカースポーツ少年団」と「平野スポーツ少年団」の子供たちがエスコートキッズなどを務め、愛媛FCの選手とともにピッチへ入場しました。試合は、スタンドからの熱い声援を受けた愛媛FCが3対1で見事勝利しました。